

■歴史講座 13:30~15:00

- 講座番号② 新常設展「密●空と海」関連講座
弘法大師空海の誕生—奈良時代後期の四国—
日 時:7月2日(日) 13:30~15:00
講 師:大本 敬久 (当館学芸員)
- 講座番号③ 源氏物語講座
柏木の遺愛の笛—夕霧から源氏へ伝えられる運命—
日 時:7月22日(土) 13:30~15:00
講 師:伊井 春樹 (当館名誉館長)
- 講座番号④ 江戸時代のけんか、雨乞い—三間の文書から読み解く—
日 時:7月30日(日) 13:30~15:00
講 師:柚山 俊夫氏 (伊予史談会副会長)
- 講座番号⑤ 源氏物語講座
冷泉院での宴遊—源氏の参加による豪華さ—
日 時:9月23日(土) 13:30~15:00
講 師:伊井 春樹 (当館名誉館長)

■民俗講座 13:30~15:00

- 講座番号② 四国霊場とお遍路さん
日 時:9月30日(土) 13:30~15:00
講 師:今村 賢司 (当館学芸員)


受講時の
お願い

- 感染症の拡大状況により、日程・内容が変更・中止となる場合があります。
- 講座の写真撮影、録画・録音はご遠慮ください。

■考古講座 13:30~15:00

- 講座番号② 西条市の発掘調査成果②—北竹ノ下I・II遺跡・桜井遺跡の調査成果—
日 時:9月2日(土) 13:30~15:00
講 師:池尻 伸吾氏 (公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター)

■体験講座

- 講座番号③ 「笑福シーサー☆オリジナル壁掛けを作ろう」
募集20名 日 時:7月29日(土) 13:30~16:30
講 師:二宮 真理子氏 (海風窯)
対 象:小学生~一般 ※小学生は保護者同伴
参加費:小学生1,500円 大人2,000円
【締切】:7月15日(土)
- 

講座番号④ 「北条風早の史跡めぐり(松山市)」 **バスツアー(中)**

- 募集30名 日 時:9月24日(日)8:00~17:00
対 象:愛媛県内の小学生~一般 ※小学生は保護者同伴
参加費:5,000円(予定)
【締切】:9月10日(日)

申込方法 希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、当館HPの講座申込フォーム・ハガキでお申し込みください。(各講座の応募締切日まで)
※締切日の記載がない講座は先着順で、定員(各80名)まで受け付けます。

お問い合わせ 企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161


夏休み期間の開館について

7月19日(水)~9月4日(月)は休まずに開館します。



臨時休館のお知らせ

6月27日(火)~6月29日(木) 博物館では、年に1回、収蔵資料をかびや害虫から守るため、くん蒸(虫・菌の防除)を行っています。



展示スケジュール 2023.7-2024.3

2023	7	特別展「40周年記念 ピンゲー展」 7月8日(土)~9月3日(日) テーマ展「愛媛の染型紙」~9月3日(日) ▶夏イベント 8月11日(金・祝)~8月15日(火)	新常設展 密●空と海—内海清美展 えひめの歴史と文化
8	テーマ展「今治平野の古墳文化」 7月19日(水)~11月26日(日)		
9	特別展 「甦る名城 香川元太郎城郭原画展」 9月23日(土・祝)~11月26日(日)		
10			
11			
12			
2024	1		
2	特別展 「瀬戸内海国立公園指定90周年記念 瀬戸内ツーリズム」 2024年2月17日(土)~4月7日(日) [予定]		
3			

ご利用案内

■開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)

■休館日 月曜日第1月曜日は開館、翌火曜日が休館。(下記カレンダーをご参照ください)

■観覧料

区分	一般		団体(2割引)
	大人(高校生以上)	小・中学生	
常設展・テーマ展	540円	無料	440円
	65歳以上	280円	230円
新常設展	観覧無料		

※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。
※未就学児は無料です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

Museum Calendar 2023.7-9

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							1							1
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
23 ²⁰	24 ³¹	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30		

■イベント ■休館日

あそびに来てください!


愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 いよてつ総合企画
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>
●発行日 令和5年6月16日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

愛媛県歴史文化博物館 No.114
歴博だより
Museum of EHIME History and Culture News

Pingou Exhibition
ピンゲー展

40周年記念
40th ANNIVERSARY



令和5年度特別展 40周年記念 ピンゲー展

令和5年7月8日(土)~9月3日(日)
9:00~17:30(入場は17:00まで)
休館日/7月10日(月)、18日(火)

特別展観覧券

大人(高校生以上)	1100円(850円)
65歳以上	700円(500円)
小・中学生	600円(450円)

* () は20名以上の団体料金
* 特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。

民俗

そめかたがみ まんじゅぎく
染型紙 万寿菊

年代：天保7(1836)年
法量：24.5cm×41.7cm
所蔵：当館蔵

染型紙とは、着物などの布を染める際に用いられる道具です。染型紙は、和紙を柿渋で張り合わせた「型地紙」と呼ばれる紙に、文様が彫り抜かれています。この型紙を布の上に置き、文様の部分に糊をのせ、それを繰り返して防染することで、染め上げた後、文様の部分が白く残ります。

江戸時代、伊勢国白子(現在の三重県鈴鹿市)で生産され、紀州藩の庇護のもと型売り商人により全国に販売されたことから「伊勢型紙」と呼ばれています。伊予国(愛媛県)でも多くの紺屋(染物屋)が染型紙を買い求めて使用し、現在でも多くの機関、個人によって保存されています。

道具である型紙には、製作年や使用時期、使用者などの情報が残されていないことが通常です。しかし、表面に墨書が残された型紙も数少ないものの伝わっています。本資料もその一つで、彫りの外側の部分に「丙申」「天保七歳ノ七月吉祥」「和泉屋與兵衛」の墨書が確認できます。和泉屋は、本資料を含む688点を使用・保管していた紺屋で、江戸時代後期から明治時代頃まで現在の愛媛県八幡浜市保内町で操業していました。



本資料の文様は「万寿菊」といい、饅頭のような丸い形の菊が描かれています。菊は秋の花で、色や大きさ、形の多様さから文様として愛されてきました。需要があったのか、同じ柄の染型紙がもう一点、和泉屋資料の中には確認できましたが、その型紙には墨書はありませんでした。

型紙を一枚ずつ計測し、状態を確認する調査は地味な作業ですが、着実に丁寧な調査を行うことで、実際に用いられていた型紙の実情に迫ることができます。

(専門学芸員 松井 寿)

※本資料は、愛媛県歴史文化博物館資料目録第31集「愛媛の染型紙資料目録 - 和泉屋染型紙資料 -」に掲載し、テーマ展「愛媛の染型紙」で9月3日まで展示しています。

考古

てつたく
鉄鐸 - 鉄製のすず -

出土地：片山1号墳(今治市片山)
年代：古墳時代後期
法量：左全長3.8cm
所蔵：愛媛県教育委員会

考古資料の中で弥生時代の青銅器、銅鐸は読者の皆様もすぐ想像できるとは思いますが、「鉄製」のすずである古墳時代の「鉄鐸」をご存知の方は少ないのではないのでしょうか。本資料は、1980年代に今治市片山地区の片山1号墳から出土した鉄製遺物の一部になります。調査時の状況により、墳丘部分の調査は行われず、主体部の横穴式石室のみ発掘調査が行われました。

発掘調査の結果、全長6.0m、玄室長2.6m、玄室幅1.9mの横穴式石室が検出されています。出土した遺物には、須恵器、耳環、玉類、石製紡錘車、馬具の轡、鉄鎌、直刀、鉄斧、ヤリガンナ、刀子、鉄鏃、鉄釘など約500点の資料があり、副葬品の数量としては、豊富な古墳ですが、墳丘規模が不明な点が残念です。「鉄鐸」は報告書では「石突」2点として報告されています。約4cm前後の円錐形の形状をしています。音を鳴らす道具である古は残存していません。報告書が刊行された1984年には鉄鐸に関する研究はまだなく、1990年代以降に研究が進展します。

近年の研究では、この鉄鐸は朝鮮半島との交流を示すものと考えられており、日本列島では約100点、朝鮮半島では約600点の出土例があり、5世紀半ばから7世紀の「新羅」地域の古墳から出土していることがわかっています。ちなみに県内では、松山市福音小学校構内遺跡で1点、新居浜市正光寺山4号墳で1点確認されているのみで、本例と合わせて4点出土しています。今治地域は、5世紀以降、渡来系遺物が多く出土している地域の一つです。この鉄鐸も朝鮮半島との交流の結果、国産化された遺物の一つと考えられます。過去に報告された資料でも研究の進捗によりその評価が異なるものがあることを教えてくれる資料でもあります。

(専門学芸員 富田 尚夫)

本資料は、テーマ展「今治平野の古墳文化」(会期：7月19日～11月26日)で展示します。



テーマ展

今治平野の古墳文化

令和5年
7月19日(水)～11月26日(日)

●会場：考古展示室

瀬戸内海に面した高縄半島の東部に位置する今治平野は県内でも古墳が多く分布する地域の一つです。古墳の発掘調査も1960年代から近年に至るまで多く実施されています。

本テーマ展では、当館が保管する今治平野の古墳出土資料を中心に紹介します。当地域の古墳文化の一端を理解していただければ幸いです。また、現存する相の谷古墳群の環境保全活動を行っている地元団体の活動も合わせて紹介します。



古谷大山谷古墳調査時写真
(公財)愛媛県埋蔵文化財センター提供



法華寺裏山古墳調査時写真
(公財)愛媛県埋蔵文化財センター提供



海を臨む前方後円墳・相の谷1号墳(早川和子氏作画)

令和5年度 特別展

40周年記念 ピンゲー展



スイスの映像作家オットマー・グットマンによって生み出されたストップモーション・アニメーション「ピンゲー」は、ペンギンの男の子ピンゲーと仲間たちが繰り広げるあたたかくユーモアのある物語で、世界中の人々に愛されています。

本展では、原作者オットマー・グットマン所縁の資料に加え、当時スタジオで使われたクレイ人形やジオラマ、絵コンテ、フィルムなど「ピンゲー」制作の貴重な資料約400点を一堂に展示。また、日本で制作された3DCGアニメーション「ピンゲーinザ・シティ」よりスペシャル新ムービーなど、親子でワクワクする新しいピンゲーの世界を体験することができます。ここでしか見るこのできないピンゲーの新しい魅力を探しに来てください。

日時

令和5年 **7月8日(土)～9月3日(日)**
9:00～17:30(入場は17:00まで)
休館日/7月10日(月)、18日(火)

特別展
観覧券

大人(高校生以上)……………1100円(850円)
65歳以上……………700円(500円)
小・中学生……………600円(450円)

*()は20名以上の団体料金 *特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。

れきはくのあしあと



5月3日(水・祝)～7日(日)にゴールデンウィークイベントを4年ぶりに開催しました。5月3日～5日は日替わりイベントとして、バルーンアートワークショップ(3日)、コマのおえかきワークショップとコマ回し体験(4日)、忍者ショー(5日)を実施。また、イベント期間中毎日実施イベントとして、段ボールかぶとのワークショップとバルーンフオスポットの設置も行いました。これらに加え、特別展「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」、こども歴史館での特別展開連ワークショップ、特設ショップも大好評。イベント期間中、多くのお客様に来館いただきました。

今回のイベントは8月11日(金・祝)～15日(火)に実施予定です。たくさんの方にご来館いただき、楽しんでいただけるよう準備してまいります!

